

事 務 連 絡
令和 7 年 9 月 1 日

各 $\left(\begin{array}{c} \text{都 道 府 県} \\ \text{保健所設置市} \\ \text{特 別 区} \end{array} \right)$ 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康・生活衛生局食品監視安全課

毒キノコによる食中毒の注意喚起について

例年、夏の終わりから秋にかけて、毒キノコを食用キノコと誤認して採取、喫食したことによる食中毒が多く発生しています。令和6年は、ツキヨタケ、オオシロカラカサタケ、ドクツルタケ等の毒キノコの誤食による食中毒事例が報告されています。

つきましては、毒キノコによる食中毒を未然に防止するため、食用のキノコと確実に判断できないキノコ類の採取、譲渡、販売及び喫食を行わないよう、改めて消費者及び食品関係事業者に対して、より一層の注意喚起及び情報提供を行うようお願いいたします。

なお、厚生労働省では、ホームページにおいて「自然毒のリスクプロファイル」として毒キノコに関する情報を提供するとともに、毒キノコに関するリーフレット等（別添）を掲載しています。また、厚生労働省 X（旧 Twitter）においても秋季の間は、毒キノコの注意喚起を行っておりますので御活用ください。

（参考）厚生労働省ホームページ

○自然毒のリスクプロファイル

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)

○毒キノコによる食中毒に注意しましょう

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/shokuhin/kinoko/index.html)

○厚生労働省 X（旧 Twitter）

(https://X.com/Shokuhin_ANZEN)

(参考) 令和6年の毒キノコにおける食中毒事件の例

【事例1】

発生年月日	令和6年7月21日
発生場所	長野県、事業所（寄宿舍）
原因	ドクツルタケ及びコテングタケモドキ（推定）
概要	患者が採取し調理したものを喫食したことで発症した。
患者	1名（20代男性）
主な症状	腹痛、嘔吐、下痢

【事例2】

発生年月日	令和6年9月26日
発生場所	山梨県、家庭
原因	野生キノコのバター炒め（ツキヨタケ）
概要	知人から譲り受けた野生キノコを調理したものを喫食したことで発症した。
患者	3名（20代男性、50代女性）
主な症状	嘔気、嘔吐、下痢

【事例3】

発生年月日	令和6年10月29日
発生場所	山口県、家庭
原因	自宅での調理品（オオシロカラカサタケ（推定））
概要	自宅の庭で採取し調理したものを喫食した家族2人のうち1人が発症した。
患者	1名（40代女性）
主な症状	嘔吐、腹痛、下痢、手のしびれ